

自分も何かしないとこの国が危ない

「Aさん、最近どうしたの。」「今やらなきゃダメなの。2分だけ時間ちょうだい」。地域9条の会に所属するAさん（60代女性）は、東京都台東区の福祉の職場（120人）で、「安倍9条改憲NO！3000万人」署名を、コッコツと1人で、2カ月間で100人以上集めています。

（遠藤寿人）

職場でコッコツ

東京の60代女性

100人超えた

Aさんは職場が落ち着く夕方、一人一人に署名の趣旨を説明します。多く出される疑問は「活躍している自衛隊を憲法に加えても問題ないじゃないか」という意見。Aさんは「安倍さんの改憲は災害救助で活躍してくれる自衛隊を、アメリカと一緒に戦争をさせる『軍隊』にするのよ」「長く続いた戦争をしないという

安倍9条改憲NO!
3000万人
署名

立場が改憲で大きく変わるのよ」などと説得。「困るね」「大変なことだ」と言っただけの人ばかりで、大方向の人は署名してくれず。断られたのは「安倍さんが大学の先輩」「憲法改悪大好き」と言われた

ときだけでした。

対話の特徴は「安倍さん」がやる憲法改悪だからダメだ」と言う人が多いと。自衛隊はいい。でも『安倍さん』は危険だ」「憲法論議はしてもかまわない。でも『安倍さん』は何をするか分からない」「安倍さん』は嫌いだ。戦争につながる」…。

話してみると政治のことを考えている人も多く険悪なムードはない」と語ります。

Aさんは「安倍さんの支持率が上がったという報道もあるが、職場で署名を集めてみてそんな実感はない。最初は勇気がいるが、

政治活動とは無縁だったAさん。2015年安保法制（戦争法）の成立に不信感を持ちました。「審議も論議もない決着。国会がどうなっているのか」と1人で国会前デモへ参加。北朝鮮を理由に軍事費を増やし福祉が削られる。戦争に向かっている。何か自分も危ない」と危機感を募らせています。